

8耐4メーカー合同・タイヤメーカーテスト

6月2日（水）・3日（木）

三重県・鈴鹿サーキット（1周5.821km）

■ 8耐見据えたテスト2日目 2番手タイムをマーク！

6月2日・3日、三重県・鈴鹿サーキットにて8耐4メーカー合同・タイヤメーカーテストが行われた。

昨年よりEWC世界耐久選手権シリーズ参戦に向けて大きく舵を切った生形だったが、新型コロナウイルスの影響を受け、そのプロジェクトの遂行は難航している。昨年末にはESBKスペインスーパーバイク選手権に初参戦、ヨーロッパでのレースを経験し、2021年シーズンの参戦に向けても交渉を続けてきたが、開幕戦ル・マン24時間耐久へのエントリーはかなわなかった。

そこで体制を一新した自らのチームで11月に延期になった鈴鹿8耐に参戦すべく、トライアウトである鈴鹿2&4レースにエントリー。自身もトレーニングを欠かさず、コンディションを整えて臨んだ。そこでは昨年末に受けた腕上がりの手術の効果も確認することができたとし、8耐参戦権も無事獲得した。レーシングライダーとして続けていくことにも自信を深めることができた。

今回テストライダーには、生形のほかにESBKスペインスーパーバイク選手権にフル参戦している、浦本修充を招集。浦本は2年振りの鈴鹿、久々のブリヂストンタイヤという状況だったが、割と早い段階で順応できたため、生形は確認程度に走行し、ニュータイヤは全て浦本に託してタイムを出してもらった。すると2日目、2分07秒297をマーク。タイヤメーカー枠では2番手タイムとなり、存在感を示す結果となった。

浦本修充コメント

「生形選手にお声がけいただき鈴鹿テストに参加できたことは、とても光栄でした。2年振りに鈴鹿を走りましたが、顔見知りのスタッフも多かったのでblankを感じずに走ることができました。生形選手のGSX-R1000Rに慣れながら2日目の最後にはそこそこのタイムを出すことができましたが、ミスも多かったため、実際はもっとタイムを出せたはずですが、自分自身にとってもいい経験になりました。生形選手を始め、チームの皆さんに感謝いたします。」

生形秀之コメント

「いつも応援していただき、ありがとうございます。今回のテストは、鈴鹿8耐を見据えて浦本選手にうちのマシンに乗ってもらいました。思っていた以上に乗り変えもスムーズで、彼のポテンシャルも見せられたと思います。そしてチームとしてもいいテストができました。まだ渡航の問題でスペイン選手権にフル参戦している浦本選手が鈴鹿8耐で走れるのかは不透明ではありますが、現状ベターな選択だと思っています。しっかり準備を進めていきます。」



PARTNERS

